

## 平成 26 年度事業報告について

### 基本方針

県内の自治体、観光関係団体、観光事業者等が一丸となり、平成 27 年度末に予定される北海道新幹線新函館北斗駅開業の効果を最大限に獲得するため、情報発信等の充実・強化や各地における観光コンテンツづくり、おもてなしの向上を含む観光客受入体制の整備を推進するとともに、本県観光産業の振興を図った。

また、JR6 社の協力のもと実施する国内最大級の誘客キャンペーンである「青森県・函館デスティネーションキャンペーン」の開催に向け、推進組織の設立や準備を進めた。

さらに、海外からの観光客の誘致促進を図るため、韓国・台湾・中国・香港を対象に、引き続き積極的な誘客活動を展開するとともに、教育旅行及び本県観光・産業等の振興に効果が高いコンベンションの誘致に重点的に取り組んだ。

青森県観光物産館については、第二期中期経営計画に基づき、より一層の経営効率化・収益拡大対策を図るとともに、来館者の満足度向上を通じたリピーター確保に向けた取組みを推進するため、関係機関・団体等と連携し、観光と物産の拠点施設としての機能強化と魅力向上に努めた。

### 〔公益目的事業〕

#### 1 観光振興事業

##### (1) 観光情報発信事業

###### ① 青森県観光情報センター運営事業

地域の魅力や資源を観光コンテンツとして磨き上げ、青森ならではの観光情報を観光客や旅行エージェント等に発信し、旅行商品化につなげるため、青森県観光情報センターを運営した。

- ◆場 所 青森市安方 1-1-40 青森県観光物産館
- ◆内 容 ・観光素材（写真データ、動画、パンフレット等）収集  
・旅行エージェント等に対する情報提供

###### ② 観光情報ネットワークシステム運営事業（県委託事業）

本県を訪れる観光客等が観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行った。

③ キーインフルエンサー獲得事業（県委託事業）

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図った。

- ◆期 間 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
- ◆内 容
  - ・本県と関連がある著名人の発掘、リストアップ
  - ・様々なコネクションを利用した働きかけによるキーインフルエンサーの獲得
  - ・キーインフルエンサー来県時の対応
  - ・キーインフルエンサー及びこれに付随する本県関連情報に係る各メディアの調査等

(2) 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施した。

① 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

ア 第 1 回会議

- ◆期 日 平成 26 年 5 月 19 日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 26 年度の事業及びスケジュールについて

イ 第 2 回会議

- ◆期 日 平成 26 年 10 月 7 日(火)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 教育旅行誘致活動状況について  
教育旅行入込実態調査の結果について

ウ 第 3 回会議

- ◆期 日 平成 27 年 3 月 19 日(木)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 26 年度教育旅行誘致活動状況について  
平成 27 年度教育旅行誘致事業計画（案）について

② 教育旅行誘致資料等の制作

ア あおもり教育旅行ガイドブックの作成・配付

- ◆部 数 12,000 部

イ 青森県教育旅行ホームページの更新

③ 教育旅行実施状況調査の実施

- ◆内 容 平成 25～26 年分県内宿泊施設に対する調査
- ◆対 象 県内ホテル、旅館等
- ◆期 間 平成 25 年分…平成 26 年 5 月～7 月調査実施  
平成 26 年分…平成 27 年 1 月～3 月調査実施

④ 学校関係者・教育旅行エージェントに対する情報提供

【首都圏対策】

ア 首都圏教育旅行エージェント訪問

- ◆期 間 平成 26 年 12 月 8 日（月）～10 日（水）
- ◆訪 問 先 東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県のエージェント 31 社

イ 首都圏教育旅行エージェント訪問

- ◆期 間 平成 27 年 2 月 18 日（水）～20 日（金）
- ◆訪 問 先 東京都、神奈川県内教育旅行エージェント 3 社

ウ 教育旅行 5 地区合同セミナー

- ◆期 日 平成 27 年 2 月 19 日（木）
- ◆場 所 東京国際フォーラム
- ◆参 加 者 首都圏教育旅行エージェント及び学校関係者 46 名
- ◆主 催 （公社）北海道観光振興機構、新潟県グリーンツーリズム推進協議会、広島県教育旅行誘致協議会、（一社）長崎県観光連盟、（公社）青森県観光連盟

エ 首都圏教育旅行エージェント現地視察会・商談会

（ア）奥津軽・白神コース

- ◆期 間 平成 26 年 8 月 20 日（水）～21 日（木）
- ◆場 所 外ヶ浜町、五所川原市、鱒ヶ沢町、西目屋村、弘前市
- ◆参 加 者 首都圏教育旅行エージェント 3 名、同行取材 1 名、教育旅行誘致促進会連絡会議構成員等 12 名

（イ）十和田・県南コース

- ◆期 間 平成 26 年 8 月 27 日（水）～28 日（木）
- ◆場 所 青森市、十和田市、八戸市
- ◆参 加 者 首都圏教育旅行エージェント 4 名、教育旅行誘致促進会連絡会議構成員等 14 名

オ 教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆東北教育旅行セミナー／主催：東北観光推進機構
- ◆全国修学旅行研究大会／主催：（公財）全国修学旅行研究会
- ◆第 10 回教育旅行シンポジウム／主催：（公財）日本修学旅行協会

## 【北海道対策】

### ア 青森県教育旅行情報交換会の開催

- ◆期 日 平成 26 年 9 月 4 日(木)
- ◆場 所 A C U (アキュ)(札幌市)
- ◆参 加 者 学校関係者 9 名、北海道旅客鉄道株式会社 4 名  
教育旅行誘致促進会議構成員等 22 名

### イ 道央地区旅行エージェントキャラバン

- ◆期 間 平成 26 年 9 月 2 日(火)～5 日(金)
- ◆訪 問 先 札幌市、旭川市、小樽市、岩見沢市、苫小牧市、帯広市の旅行エージェント 29 社、札幌市教育委員会
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 22 名

### ウ 教育関係団体等の発表会等への参加

- ◆修学旅行説明会(札幌・函館)／主催：北海道旅客鉄道(株)

## ⑤ 教育旅行魅力向上・誘致拡大事業(県委託事業)

本県を教育旅行の行き先としている学校を維持するため、教育旅行エージェントや学校関係者への誘致活動を強化し、需要回復を図るとともに、新たな行き先を検討している学校に向けて情報交換会や現地視察会を実施し、新規校獲得に努めた。

また、教育旅行のメニューを再編し、より学校側のニーズに合った旅行プランの提案を可能にすることで、本県の教育旅行の魅力向上を図った。

### ア 道南地区旅行エージェントキャラバン及び学校訪問

- ◆期 間 平成 26 年 10 月 8 日(水)～10 日(金)
- ◆訪 問 先 小学校 49 校、旅行エージェント 8 社、  
函館市教育委員会
- ◆参 加 者 教育旅行誘致促進連絡会議構成員等 18 名

### イ 教育旅行メニューの再編成

- ◆対象団体 ねぶたの家ワ・ラッセ(青森市)  
(一財)十和田湖ふるさと活性化公社(十和田市)
- ◆内 容 アドバイザーから助言を受けて、教育旅行向けメニューのブラッシュアップに向けたワークショップを行い、新たなプログラムを創出した。

### ウ 教育旅行メニュー発表会の開催

- ◆期 日 平成 26 年 12 月 12 日(金)
- ◆内 容 再編した教育旅行メニューの発表ほか
- ◆発 表 者 ねぶたの家ワ・ラッセ(青森市)  
(一財)十和田湖ふるさと活性化公社(十和田市)

(3) コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の強力な動機付けとなるコンベンション開催費助成事業の実施や、大学、全国団体等への誘致活動を強力に展開した。

① コンベンション誘致促進連絡会議の開催

ア 第1回会議

- ◆期 日 平成 26 年 5 月 19 日(月)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 26 年度の事業及びスケジュールについて

イ 第2回会議

- ◆期 日 平成 26 年 10 月 7 日(火)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 26 年度事業の進捗状況について  
平成 27 年度以降のコンベンション開催費助成金申込状況について

ウ 第3回会議

- ◆期 日 平成 27 年 3 月 19 日(木)
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆議 題 平成 26 年度事業の進捗状況について  
平成 27 年度事業計画(案)について  
平成 27 年度助成金交付対象(案)について

② コンベンション誘致活動事業(県補助事業)

ア 開催団体等訪問

県内の大学・団体等を訪問して、助成制度等の説明PR及び平成27年度以降の学会等の誘致促進を依頼した。

- ◆訪問時期 平成 26 年 6 月 3 日(火)、4 日(水)、6 日(金)、  
10 日(火)
- ◆訪 問 先 県内大学等 10 団体

イ 各種イベント出展等

国際ミーティングエキスポ(IME2014)に県内各観光コンベンション協会と共同で出展し、青森県へのコンベンション誘致活動を行うと共に、本県ブース来場団体に対する事後訪問を実施した。

- ◆期 間 平成 26 年 12 月 9 日(火)～10 日(水)
- ◆場 所 東京国際フォーラム(東京都)

◆事後訪問件数	6月17日(火)～18日(水)	東京都 11件
	9月9日(火)	仙台市 6件
	12月11日(木)	東京都 4件
	3月2日(月)～3日(火)	東京都 7件
		(合計：28件)

③ コンベンション開催費助成事業（県補助事業）

県外からの延宿泊者数100人以上のコンベンションに対し開催費を助成した。

◆交付実績 助成先24団体、助成金額14,880千円

(4) 外国人観光客誘致拡大事業

韓国・台湾・香港・中国を中心とした東アジアからの外国人観光客の誘致活動をより一層積極的に展開するとともに、県内観光事業者の受入意識やサービスの向上、外国人観光客受入体制の充実・強化を図った。

① 国際観光推進連絡会議の開催

ア 第1回会議

◆期 日 平成26年5月19日(月)  
 ◆場 所 青森県観光物産館  
 ◆議 題 平成26度事業について

イ 第2回会議

◆期 日 平成26年11月17日(月)  
 ◆場 所 青森県観光物産館  
 ◆議 題 平成26度事業の進捗状況について  
 青森県・函館デスティネーションキャンペーンについて

② 韓国人観光客誘致拡大事業（県委託事業）

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。

ア 主力商品販売対策

(ア) 韓国メディア招聘事業

≪1回目≫

◆期 間 平成26年6月11日(水)～20日(金)  
 ◆取 材 先 青森市、弘前市、五所川原市、黒石市、十和田市、  
 八戸市、三沢市、深浦町  
 ◆招 聘 者 韓国メディア関係者4名

≪2回目≫

◆期 間 平成26年8月6日(水)～8日(金)  
 ◆取 材 先 青森市、十和田市、五所川原市

- ◆ 招 聘 者 韓国メディア関係者 4 名
- 《 3 回 目 》
- ◆ 期 間 平成 26 年 8 月 19 日（火）～22 日（金）
- ◆ 取 材 先 青森市、十和田市
- ◆ 招 聘 者 韓国メディア関係者 2 名

#### イ 閑散期販売対策（広告助成）

##### （ア）広告支援金の交付

青森・ソウル線における韓国人利用者数の改善を図ることを目的として、販売促進に係る経費の一部を助成した。

- ◆ 支援商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品
- ◆ 支 援 先 韓国旅行エージェント 4 社

#### ウ 新規顧客等誘致拡大事業（各種イベント出展含む）

##### （ア）KOTFA（第 29 回韓国国際観光展）への参加

北東北三県・北海道ソウル事務所及び青森県と連携し「KOTFA（第 29 回韓国国際観光展）」に出展し、来場した一般市民等に対し本県観光のPRを実施した。

- ◆ 期 間 平成 26 年 5 月 29 日（木）～6 月 1 日（日）
- ◆ 場 所 COEX 展示場 C（ソウル市）

##### （イ）VISIT JAPAN トラベルマート 2014 への参加

観光庁、日本政府観光局主催の「VISIT JAPAN トラベルマート 2014」に、青森県と共同で出展参加し、海外の旅行エージェント等 25 社と本県への旅行商品造成に係る商談を行った。

- ◆ 期 間 平成 26 年 9 月 24 日（水）～26 日（金）
- ◆ 場 所 東京ビッグサイト（東京都）

##### （ウ）日韓交流おまつりへの参加

「日韓交流おまつり」へ参加し、青森ねぶたの展示及びお囃子・跳人の実演や金魚ねぶたの製作体験を実施し、本県の観光PRを実施した。

- ◆ 期 間 平成 26 年 9 月 13 日（土）～14 日（日）
- ◆ 場 所 COEX 展示場 B（ソウル市）

#### エ 旅行エージェント招聘

##### 《 1 回 目 》

- ◆ 期 間 平成 26 年 5 月 11 日（日）～14 日（水）
- ◆ 訪問地域 青森市、十和田市、五所川原市、深浦町
- ◆ 招 聘 者 旅行エージェント 2 名

##### 《 2 回 目 》

- ◆ 期 間 平成 26 年 7 月 9 日（水）～11 日（金）
- ◆ 訪問地域 青森市、十和田市、八戸市、三沢市
- ◆ 招 聘 者 済州特別自治道オルレ関係者等 5 名

《3回目》

- ◆期 間 平成26年7月11日(金)～13日(日)
- ◆訪問地域 青森市、十和田市、三沢市、七戸町
- ◆招 聘 者 旅行エージェント4名、ソウル事務所1名

オ 韓国食品展示会出展等事業

韓国食品展示会への出展や韓国バイヤーの招聘により、バイヤー並びに一般消費者に対して、県産品等のPRを行い、本県のイメージアップと誘客促進を図った。

(ア) フードウィーク2014出展

- ◆期 間 平成26年11月12日(水)～16日(日)
- ◆場 所 COEX ワールドトレードセンター(ソウル市)
- ◆出 展 者 桃川(株)、(株)N・S・マネージメント、(有)小向製菓

(イ) バイヤー招聘

- ◆期 間 平成26年5月28日(水)～30日(日)
- ◆場 所 青森市、六戸町
- ◆招 聘 者 ソンサラン社 イ・サンファ代表取締役社長、アン・オクキョン専務理事、イ・ソンミン課長  
現代百貨店 キム・ジョンヒョン課長代理

(ウ) ビジネス開拓支援

日本食市場の新たなビジネスを開拓するため、北東北三県・北海道ソウル事務所により韓国内バイヤー向けのPRとニーズ調査を行い、県内企業の韓国ビジネス開拓の支援を行った。

③ 青森県の自然の魅力PR及び誘客促進事業(県委託事業)

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、健康志向が高い韓国人に対し、青森県の自然の魅力をもPRするため、韓国のトレッキング旅行者に影響力のあるメディア、旅行社等を招聘し情報発信や旅行商品の造成を働きかけた。

ア 販売促進プロモーション

(ア) メディアファームツアー

《1回目》

- ◆期 間 平成26年9月29日(月)～30日(火)
- ◆取 材 先 青森市、弘前市、平川市
- ◆招 聘 者 韓国メディア関係者5名

《2回目》

- ◆期 間 平成26年10月19日(日)～22日(水)
- ◆取 材 先 青森市、十和田市、八戸市
- ◆招 聘 者 韓国メディア関係者4名



(イ) 韓国旅行エージェントファムツアー

- ◆期 間 平成 26 年 9 月 26 日（金）～28 日（日）
- ◆視 察 先 青森市、八戸市、十和田市
- ◆招 聘 者 韓国旅行エージェント 5 名、ソウル事務所 1 名

(ウ) 韓国パワーブロガー・ファムツアー

- ◆期 間 平成 27 年 2 月 13 日（金）～15 日（日）
- ◆取 材 先 青森市、五所川原市、板柳町、鶴田町、鱒ヶ沢町
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー 2 名、ソウル事務所 1 名

イ 広告助成

韓国人観光客を早期に回復させるため、韓国旅行エージェントに対し、旅行商品造成促進のための広告支援を実施した。

- ◆支援商品 青森・ソウル線における韓国発の青森旅行商品等
- ◆支 援 先 韓国旅行エージェント 6 社

ウ ソウルランタン祭りにおける P R

- ◆期 間 平成 26 年 11 月 7 日（金）～23 日（日）

④ 台湾人観光客誘客拡大事業（県委託事業）

本県の知名度向上を図るとともに、本県向け旅行商品の造成を促進するため、旅行エージェントへの広告支援などを実施した。

ア インバウンドチャーター便及び定期便を活用した旅行商品造成に対する広告支援金

青森・台湾線のチャーター便及び閑散期における台湾・仙台線、台湾・函館線を活用して来青した台湾人観光客による県内宿泊施設の利用促進を目的として、県内宿泊を伴う販売促進に係る経費の一部を助成した。

- ◆支援商品 青森・台湾線チャーター便における台湾発青森旅行商品
- ◆支 援 先 台湾旅行エージェント 10 社

イ 「JAL×JR」立体観光型旅行商品造成に対する広告支援

台湾発で、青森県・JAL・JR 東日本及び台湾旅行会社が連携して造成した、飛行機と新幹線を利用した旅行商品を販売実施する台湾旅行エージェントに対して、販売促進に係る広告費用を助成した。

- ◆支援件数 2 件

ウ チャーター便の歓迎及びお見送り対応

県及び県内観光事業者等と連携し、青森空港を利用した台湾からのチャーター便に対しての歓迎・お見送りを行った。

- ◆期 間 平成 26 年 4 月～平成 27 年 2 月
- ◆回 数 15 回

エ 台湾における青森プロモーション

(ア) 観光商談会

本県観光事業者とともにPRコーナーを設置し、来場した現地旅行エージェントとの商談会を実施した

◆期 日 平成26年5月16日(金)

◆場 所 国賓大飯店(台北市)

(イ) 旅行エージェント等への訪問

◆期 日 平成26年10月17日(金)

◆訪 問 先 台湾旅行エージェント 4社

(ウ) 各種博覧会等への参加

◆台北国際観光博覧会(2014TTE)(台北市)  
平成26年5月23日(金)~26日(月)

◆台北国際旅行博(ITF2014)(台北市)  
平成26年11月7日(金)~10日(月)

◆日本東北六県感謝祭(台北市)  
平成26年12月19日(金)~22日(月)

⑤ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所の概要

◆設置場所 大韓民国ソウル市中区南大門路 韓進ビル本館7階

◆運営主体 北東北三県・北海道ソウル事務所運営協議会

◆構 成 員 北海道、青森県、岩手県、秋田県、(一社)北海道貿易物産振興会、(公社)青森県観光連盟、(公財)岩手県観光協会、(一社)秋田県観光連盟

イ 事業内容

(ア) 韓国パワーブロガーの招聘

韓国からの誘客を促進するため、韓国のパワーブロガーを招聘した。

◆期 間 平成26年7月~平成27年3月

◆回 数 参加者9名

◆主な取材先 夏祭り、ストーブ列車、フェリー等

(イ) 旅行商品造成支援事業

《商談会》

◆期 日 平成26年10月14日(火)

◆場 所 ザ・プラザ(ソウル市)

◆参 加 者 日本側=25団体・施設37名(青森県7団体13名)  
韓国側=69社 126名(旅行エージェント、ランド社、航空会社、メディア等)

- (ウ) ファームツアーの実施
- (エ) ホームページの運営 (<http://www.beautifuljapan.or.kr>)
- (オ) 各種イベント出展
- (カ) 各種物産販路拡大事業

⑥ 五所川原ファームツアー事業（五所川原市委託事業）

五所川原市及び津軽半島の魅力を活かし韓国人観光客の誘致拡大を図るとともに、宿泊型観光を目指すため韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。

《ソウルランタン祭りでの五所川原市PR》

- ◆期 間 平成 26 年 11 月 7 日(金)～9 日(日)
- ◆場 所 ソウル市清溪川付近

《ファームツアーの実施》

- ◆期 間 平成 27 年 2 月 13 日(金)～15 日(日)
- ◆視 察 先 津軽金山焼、立佞武多の館、津軽鉄道等
- ◆招 聘 者 韓国パワーブロガー2 名、ソウル事務所 1 名

(5) 観光キャンペーン推進事業

東日本旅客鉄道（株）や（公社）日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、首都圏等における各種観光イベントや観光物産展等に参画するとともに、青森デスティネーションキャンペーンのキャッチフレーズ「行くたび、あたらしい。青森」とマスコットキャラクターの「いくべえ」を引き続き本県観光PRのキャッチフレーズ及びキャラクターとして活用しながら観光PR等を実施した。

また、観光ガイドブック等の作成や首都圏等での観光説明会の開催などを通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図った。

① 宣伝広報事業

ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命

県内外の各種観光キャンペーンイベント等において本県観光のPRを行う「あおもり紀行キャンペーンスタッフ」を任命した。

- ◆人 数 4 名
- ◆任 期 平成 26 年 4 月 1 日(火)～平成 27 年 3 月 31 日 (火)

イ 観光ガイドブック等の作成

(ア) あおもり紀行ガイドブックの作成

自然や食、温泉、祭りを主要テーマに、ホットな話題やイベント、

観光施設等の情報を掲載した本県の旅の総合案内として「あおり紀行ガイドブック」を作成した。

- ◆作成部数 夏・秋号 15万部  
冬・春号 15万部
- ◆発行時期 夏・秋号 平成26年5月  
冬・春号 平成26年10月

(イ) キャンペーン用ビニール袋の作成

各種キャンペーンイベントでパンフレット等を配付するためのキャンペーン用ビニール袋を作成した。

- ◆制作部数：20,000枚

ウ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画

JR五能線で運行されている「リゾートしらかみ」及び津軽線・大湊線等で運行されている「リゾートあすなろ」の各協議会に参画し、沿線市町村の観光情報を掲載したパンフレットの作成や各種イベント等に参加した。

エ 広告宣伝の展開等

各種新聞・雑誌等において本県の観光資源の魅力を紹介する広告宣伝を展開するとともに、マスコミ等の県内取材に対し積極的に協力した。

オ 観光イベント等への参画

東日本旅客鉄道（株）や（公社）日本観光振興協会、青森県等とタイアップして、首都圏等で観光イベントを積極的に展開した。

(ア) 白神山地出前講座

- ◆期 日 平成26年6月1日（日）
- ◆場 所 サンパール荒川（東京都）
- ◆主 催 東日本旅客鉄道（株）

(イ) ハイウェイフェスタとうほく

- ◆期 間 平成26年8月23日（土）～24日（日）
- ◆場 所 仙台市勾当台公園市民広場（仙台市）
- ◆主 催 東日本高速道路（株）東北支社

(ウ) 2014秋の旅観光展

- ◆期 間 平成26年9月12日（金）～13日（土）
- ◆場 所 JR大宮駅西口イベントスペース（さいたま市）
- ◆主 催 （公社）日本観光振興協会関東支部

(エ) 青森人の祭典（東北復興大祭典なかの）

- ◆期 間 平成 26 年 10 月 25 日（土）～26 日（日）
- ◆場 所 中野サンプラザ広場外（東京都）
- ◆主 催 東京青森県人会

(オ) 2015 冬の旅・早春の旅観光展

- ◆期 間 平成 26 年 12 月 5 日（金）～8 日（月）
- ◆場 所 J R 横浜駅東口そごうデパート前イベントスペース（横浜市）
- ◆主 催 （公社）日本観光振興協会関東支部

(カ) ふるさと祭り東京 2015

- ◆期 間 平成 27 年 1 月 9 日（金）～18 日（日）
- ◆場 所 東京ドーム（東京都）
- ◆主 催 ふるさと祭り実行員委員会

(キ) その他

県内外で開催される各種観光イベント、観光物産展等に積極的に参画し、観光コーナーの設置、あおり紀行キャンペーンスタッフによる観光PR等を行った。

② 誘客対策事業

首都圏及び関西圏からの誘客を強力に促進するため県と共同で旅行エージェント等を対象とした観光セミナーを開催し、本県観光PRや商談会により、旅行エージェントにおける本県向け旅行商品の造成促進等を図った。

ア 首都圏における青森県観光セミナーの開催

- ◆期 日 平成 26 年 7 月 14 日（月）
- ◆場 所 ホテルメトロポリタン（東京都）
- ◆内 容 個別商談会、観光セミナー（知事トップセールス）、情報交換会
- ◆出 席 者 交通事業者・旅行エージェント 123 名、記者 20 名  
県内観光事業者 33 名

イ 関西圏旅行エージェント招聘モニターツアー及び商談会の開催

- ◆期 日 平成 26 年 11 月 11 日（火）～13 日（木）
- ◆視 察 先 青森市、黒石市、弘前市、八戸市、五所川原市、板柳町
- ◆内 容 個別商談会、情報交換会、現地視察会
- ◆参加者数 旅行エージェント 6 名、県内観光事業者 37 名

ウ 旅行商品造成対策

滞在型・周遊型旅行商品の造成を一層促進するため、市町村や関係機

関と連携を図り、旅行エージェント等に対し本県の新しい観光素材や観光スポット、自然、食、温泉等の魅力を積極的に情報提供し、旅行商品の造成を強力に促進した。

- ◆時 期 平成26年6月、10月、平成27年2月
- ◆訪 問 先 首都圏、名古屋市、大阪市、福岡市
- ◆内 容 旅行エージェントへの集中訪問による商品造成の促進

#### エ 航空路線活用対策

県内空港発着の航空路線が広がる中で、航空会社への情報提供や連携した取組により、旅行商品の造成や航空便を利用した誘客を促進した。

また、青森空港振興会議や航空会社等と連携を図りながら、九州・沖縄地方等からチャーター便を利用して来県する観光客に対して歓迎イベント等を実施した。

### ③ 青森県・函館誘客促進プロモーション事業

北海道新幹線新函館北斗駅開業の効果を最大限に獲得するため、JR東日本の「重点販売地域指定」等と連携したキャンペーンに参画し、本県への誘客促進を図った。

#### ア 観光PRキャンペーンイベントへの参加

重点販売地域指定期間に向けて積極的に本県観光資源を紹介し、誘客促進を図るために行うキャンペーンイベントに参画した。

- ◆時 期 平成26年6月
- ◆場 所 JR大宮駅

#### イ あおもり紀行ガイドブックの作成（県委託事業）

重点販売地域指定期間に造成される本県向け旅行商品パンフレットを補完するためのガイドブックを作成した。

- ◆時 期 平成26年5月
- ◆部 数 35万部

#### ウ JR主要駅内観光物産フェアでの観光PRへの参画

東日本旅客鉄道（株）が重点販売地域指定期間に向けて実施する「産直市」に参画し、本県観光資源を積極的にPRし誘客促進を図った。

- ◆時 期 平成26年5月15日（木）～17日（土）
- ◆場 所 JR上野駅

エ 観光コンテンツ等の首都圏における強力な情報発信（県委託事業）

本県の魅力あふれる観光コンテンツを首都圏の富裕層の多いエリア等をターゲットとしたタブロイド紙に情報を掲載してPRするとともに、地元新聞を活用し、本県の新たな魅力の認識とホスピタリティ意識の高揚を図った。

- ◆時 期 平成 26 年 7 月
- ◆配 布 先 首都圏（東京・神奈川中心）、県内
- ◆部 数 県外 約 40 万部、県内 約 25 万部

オ 旅行エージェント販売店舗等におけるキャラバン等の実施（県委託事業）

旅行エージェントが造成した旅行商品の販売促進と更なる商品造成を働きかけるため、旅行エージェントの販売店舗等におけるキャラバンを実施したほか、観光PRや旅行エージェント等に配布するためのポスター等を作成するとともに、本県の観光マスコットキャラクターである「いくべえ」によるプロモーションを展開し、本県への誘客促進を図った。

（ア）販売店舗等キャラバンの実施

- ◆時 期 平成 26 年 5 月～7 月、平成 26 年 11 月～12 月
- ◆場 所 首都圏JR主要駅・旅行会社店舗等 32 箇所

（イ）「いくべえ」によるプロモーション活動

- ◆期 間 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
- ◆配置人員 2 名
- ◆場 所 県内外の観光施設・交通拠点等

（ウ）観光ポスターの制作・掲出

- ◆規 格 B1 判、4C
- ◆枚 数 4,000 枚
- ◆掲出場所 首都圏・東北地域のJR主要駅等

④ 「青森県フェア」等における観光PR実施事業（県委託事業）

県が実施する県外量販店における「青森県フェア」において、本県の観光PRを行い誘客促進を図った。

- ◆期 間 平成 26 年 7 月、10 月
- ◆場 所 イトーヨーカドーアリオ北砂店（東京都）、イトーヨーカドー木場店（東京都）、ヨークマートフードセン  
トラルラガーデン川口（川口市）
- ◆内 容 ・ステージイベントにおける観光PR  
・ねぶた囃子実演

⑤ 青森県・函館デスティネーションキャンペーン推進事業

平成 27 年度末の北海道新幹線開業を契機とし、全国からの集中的な誘客や地域経済の活性化を図るため、全国の JR6 社の協力のもと、青森県及び北海道道南地域の自治体、観光関係団体、観光事業者等が一丸となり、平成 28 年度に青森県・函館デスティネーションキャンペーン(以下 DC)を実施することとし、その推進組織を設立するとともに、キャンペーン実施に向けた各種準備を進めた。

ア 設立総会等

(ア) 設立総会

- ◆開催日 平成 26 年 11 月 10 日(月)
- ◆開催場所 青森国際ホテル
- ◆内 容
  - ・ DC 推進委員会規約について
  - ・ DC 実施概要案について
  - ・ DC の名称について
  - ・ 平成 26 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
  - ・ 全国宣伝販売促進会議に向けた取り組みについて

(イ) 幹事会

- ◆開催日 平成 27 年 2 月 25 日(水)
- ◆開催場所 青森県観光物産館
- ◆内 容
  - ・ 青森県・函館 DC に向けた平成 26 年度の取り組みについて
  - ・ 青森県・函館 DC に向けた平成 27 年度の取り組みについて

イ キャンペーン実施に向けた準備

(ア) 地域連絡会議

北海道新幹線開業や青森県・函館 DC に向けた観光開発・受入体制の整備に各地域が主体的に取り組むため、各地域県民局及び北海道渡島総合振興局が中心となり地域連絡会議を開催した。

◆開催回数

東青地域(5回)、中南地域(2回)、三八地域(2回)、西北地域(2回)、上北地域(2回)、下北地域(3回)、道南地域(2回)



(イ) 青森県・函館DCキャッチフレーズ・マスコットキャラクターの作成

青森県・函館DCを広くPRするためのキャッチフレーズ・キャラクターを次のとおり作成した。

【キャッチフレーズ】

ひと旅 ふた旅、めぐる旅。

青森 ⇒ 函館  
AOMORI HAKODATE

【キャッチフレーズの説明】

青森県と北海道道南地域は、深い交流があり、様々な文化・観光資源があります。

2つのエリアを周遊する旅のメリットを「1つの旅（ひと度）で2つの旅＝ひと旅ふた旅」と表現し、一つの旅で2つのエリアを巡ることにより、深みのある旅の思い出を作ってほしいという願いを込めてキャッチフレーズとしました。

【マスコットキャラクター いくべえ】

【マスコットキャラクター いくべえの説明】

「いくべえ」は青森県のAの形を基調に、また、青森県の「青」色を使ったキャラクターです。2010年2月から青森デスティネーションキャンペーンをきっかけにマスコットキャラクターとして青森県の魅力を多くの方々にPRしてきました。

これまでは、頭に「りんごの花」をモチーフにした帽子をかぶっていましたが、これからは、青森県と北海道道南地域にちなんだ帽子やかぶり物を付けて、2つのエリアを紹介・案内します。



(ウ) イベント等提案シートのとりまとめ

青森県・函館DC本番に向けた本県及び北海道道南地域への旅行商品の造成促進を図るため、地域県民局、渡島総合振興局、市町村及び観光事業者等と連携を図りながら、観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光客受け入れ体制の整備・充実を図ると共に、それらの情報を掲載した「イベント等提案シート」のデータの取りまとめを行った。

⑥ 観光マインドアップ事業（県委託事業）

平成27年度末の北海道新幹線開業に向け、観光マスコットキャラクターの活用や関係団体との連携等により、観光客の誘客促進や受入体制の強化に係る県民の機運醸成を図った。

- ◆内 容
  - ・キャラバン隊によるPR活動
  - ・おもてなし缶バッジ等の作成・配布
  - ・PRポスターの作成・配布
  - ・のぼり、フラッグの作成配布等

(6) 受入体制整備事業

① 観光案内所運営事業（県委託事業）

青森県東京観光案内所を運営し、本県観光情報の発信や問合せへの対応を行うとともに、県内観光案内所の連携による観光情報の提供及び観光案内体制の充実強化を図った。

ア 青森県東京観光案内所の運営（県委託事業）

- ◆所在地 東京都千代田区富士見2-3-11 青森県会館1階

イ 青森県内観光案内所連絡会議の開催

- ◆期 日 平成26年7月7日（月）
- ◆内 容 青森県観光情報センターについて  
デスティネーションキャンペーンについて  
青森県観光情報サイト等の作業依頼について 等

② 「もてなしの心」運動推進事業（県補助事業）

北海道新幹線奥津軽いまべつ駅開業及びこれに伴う大型観光キャンペーンの実施を見据え、本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を行い、受入体制の整備を図った。

ア クリーン大作戦の実施

本県を訪れる多くの観光客を温かくもてなす県民運動の一環として、美しい自然環境を大切にし、後世に残していく意識を醸成するため、小さな親切運動青森県本部と連携し、「春のクリーン大作戦」を開催した。

- ◆期 日 平成26年4月19日（土）
- ◆場 所 県内各地
- ◆参加人数 約10万人

イ 観光ボランティアガイド県大会の開催

観光ボランティアガイド県大会を開催し、先進事例の研修や活動事例発表などを通じ、ガイド団体相互の情報交流、ガイドのスキルアップを図った。

- ◆期 日 平成 26 年 6 月 28 日（土）
- ◆場 所 十和田湖公民館
- ◆内 容 十和田市内視察研修、協議会加盟団体活動発表、奥入瀬自然観光資源研究会理事長 河井大輔氏の特別講演

ウ ホスピタリティ普及事業

観光客を温かくもてなすための気運醸成を図るため、観光事業者を対象に講習会の開催等を行った。

- ◆時 期 平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月
- ◆場 所 県内各地
- ◆受講人数 80 名

(7) その他観光振興事業

① 観光人材リーダー実践研修の実施

地域の魅力を活かしたコンテンツづくりやおもてなしの取組みなど、本県の観光振興の中核となる地域の人材の育成と活用を図るための研修事業を実施した。

《第 1 回》

- ◆期 日 平成 26 年 9 月 19 日（金）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆講 師 近畿大学経営学部 教授 高橋一夫 氏
- ◆テ ー マ 「地域の魅力を観光商品につなげる」「観光地づくりの推進体制」
- ◆参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 30 名

《第 2 回》

- ◆期 日 平成 27 年 1 月 23 日（金）
- ◆場 所 青森県観光物産館
- ◆講 師 東日本旅客鉄道（株）盛岡支社 青森県・函館 D C 推進室 事務局長 大瀬雅和 氏
- ◆テ ー マ 「デスティネーションキャンペーンの概要とデスティネーションキャンペーンにおけるおもてなしの取組みを行う効果」「デスティネーションキャンペーンに向けた観光開発とその取組み事例」
- ◆参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 54 名

《第 3 回》

- ◆期 日 平成 27 年 3 月 20 日（金）
- ◆場 所 青森県観光物産館

- ◆ 講 師 (株)観光ビジネスコンサルタンツ  
代表取締役 西川丈次 氏
- ◆ テ ー マ 「おもてなしで創る、また来たい！また逢いたい」
- ◆ 参 加 者 県内市町村、観光関係団体、観光事業者等 45 名

## ② 観光功労者表彰

観光思想の普及による観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰した。

### 【個人】

- ・ 蝦名 幸一（浅虫温泉旅館組合長）
- ・ 川山 光則（小泊観光協会会長）

### 【団体】

- ・ 十和田湖冬物語実行委員会（実行委員長 橋野 修一）
- ・ 三沢国際クラブ（代表 三上 博利）
- ・ あおぞら組（組長 島 康子）

## ③ 観光振興事業【県補助事業】

（公社）日本観光振興協会が全国的または重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出した。

## ④ 広域観光振興事業

### ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

北東北三県観光立県推進協議会に参加し、北東北広域による国内観光の推進を図るとともに、外国人観光客の受入体制の整備、誘客促進及びPRに努めた。

### イ 東北観光推進機構の事業への参画

東北観光推進機構に参加し、広域観光の推進を図った。

### ウ イルミネーション及びライトアップ機材の貸し出し

県内市町村等にイルミネーション及びライトアップ機材の貸し出しを行い滞在型観光及び冬季観光の振興を図り誘客を促進した。

## 2 青森県観光物産館管理運営事業

観光・物産の情報発信拠点である青森県観光物産館アスパムの機能強化と魅力向上を図り、展望台・パノラマ映画などの各種展示コーナー、地場セレクトなどの物産販売店、会議室等の管理・運営、市町村と連携したイベント等の開催を通じ、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などを総合的に紹介・宣伝した。

(1) 観光資源紹介事業

青森市内唯一の展望施設である地上 51 メートルの展望台、360 度の全周映像で県内 40 市町村の四季の自然や祭り、郷土芸能等の観光資源を紹介するパノラマ映画をはじめ各種展示コーナーの管理・運営等を行った。

また、主催イベントの充実を図るとともに、県や市町村、関係団体等と連携し、地域の振興を図った。

(2) 貸会議室事業

館内の会議室を、本県の観光、物産、郷土芸能及び産業などの振興や地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与した。

(3) 青森県地場セレクト運営事業

県内地場産品の掘り起こしを進め、こだわりやストーリー性のある地場産品を紹介・販売する「青森県地場セレクト」の運営を行い、店舗での消費者の反応や改良点などを生産者にフィードバックし、商品改良・販路拡大に活用し、地域や産業の振興を図った。

(4) テナント事業

青森県の主要な産業の一つであるエネルギー施策PRの展示・体験施設と雇用促進関連事業であるハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その活動及びサービスの場を提供することにより、本県の産業の振興を図った。

(5) PRホール運営事業

アスパム 1・2 階において、市町村の観光、物産、郷土芸能、民芸品を紹介・宣伝するとともに、本県を代表する郷土芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立郷土館等との連携展を開催した。

(6) 施設管理運営事業

平成 28 年 4 月の開館 30 周年及び同年 7 月～9 月の青森県・函館デステーションキャンペーンに向け、記念イベント等開催のための活性化積立預金の積み立てを行った。(積立額 500 万円)

## 〔収益事業〕

### 1 イベントスペース・貸会議室事業

アスパム館内のイベントスペース及び会議室（11室）を各種会議や催事会場として貸出しした。

### 2 テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）をテナントとして入居させ、青森県の物産と食の魅力を提供した。

### 3 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館アスパム来館者等の利便性向上を図るため、一般及びバス駐車場を管理・運営した。